

初めての 市民交流祭

市民相互の親睦と融和を図り、元氣な神崎市を築き上げるため、「元氣かんざき市民交流祭」（同交流祭実行委員会主催）が、3月9日、吉野ヶ里歴史公園で行われました。



▲子どもも大人も楽しんだニュースポーツ



▲バルーンの搭乗体験

市民が一堂に集まって行うイベントは初めてで、バルーンの搭乗体験や昔遊び、ニュースポーツ体験、市内にある企業の紹介コーナー、地元のをうめんやのり、農産物、黒毛和牛の即売コーナーなどがありました。

地区対抗の競技では、神崎市の人口や面積、地域や学校にちなんだ〇×クイズ、玉入れなどが行われました。地区対抗競技の優勝地区は、次のとおりです。

- ×クイズ：柏原（神崎町）
- 玉入れ……大門（神崎町）



▶玉入れ競技



▲婦人会の総踊り



▲どこまで伸びるかんざき麺

神舞太鼓（神崎町）の演奏や高志狂言（千代田町）の披露、婦人会の踊り、キャラクターショー、神崎町出身の山本譲一さんらの歌謡ショーや神崎市をうめん協同組合による「どこまで伸びるかんざき麺」も好評でした。

また、会場内には、市内の中学生が描いた「未来の神崎市」の入賞作品の展示も行われ、来場者の目を楽しませていました。

受賞者については、次のとおりです。（敬称略）

- 最優秀賞
隈寄 那美（神崎中）
- 優秀賞
山口 美咲（千代田中）
角 友里絵（神崎中）
山田 尚太（神崎中）
- 特別賞
永 渕 紗 妃（脊振中）
田 中 千 尋（千代田中）
吉 野 成 美（神崎中）
- 奨励賞
高 橋 啓 介（神崎中）
中 島 優 哉（神崎中）

お楽しみ抽選会には、神崎市と同じ誕生日（平成18年3月20日）で、市の花「さくら」を名前に持つ谷川さくらちゃん親子（神崎町II写真）もくじ引きに参加。抽選会を盛り上げていただきました。



第1回目の市民交流祭は、雨の中の開催となりましたが、約6千人の市民の皆さんに参加していただきました。今後、市民の皆さんからいただいたアンケート結果をもとに、開催時期・実施内容などについて検討を重ね、さらなる市民の交流の場となるよう継続していきます。

市のうごき

- 人 口 33,809人 (対前月 -30人)
- (男/16,162人、女/17,647人)
- 世 帯 10,930世帯 (対前月 -1世帯)

平成20年2月末日現在